

特殊詐欺事件の発生について

1 認知

令和 7 年10月 9 日(木)

2 発生日時

令和 7 年10月 7 日(火)午後 8 時頃から同月 8 日(水)午後 5 時頃までの間

3 被害品

現金500万円

4 被害者

和歌山市内居住の70代女性

5 状況

令和 7 年10月 7 日、被害者方の固定電話に息子を名乗る男から「携帯電話が壊れたから電話番号が変わった。」などと電話があり、翌日、その番号から「体調が悪いから病院に行ったがコロナじゃなかった。」、「精神的な問題だった。」、「仕事中だから後で電話する。」などと言って電話が切断されました。

心配になった被害者が、電話をかけ直すと相手が「仲良くなった女性を妊娠させてしまった。」、「妊娠中絶費用と弁護士費用に500万円貸して欲しい。」などと言われ、信じた被害者は、現金500万円を用意して指定された場所に向かい、そこで、弁護士の助手を名乗る男に現金500万円が入った紙袋を手渡しました。

その後、思い返してみると息子の態度に違和感を覚えたことから、以前の電話番号に電話をかけたところ、本当の息子と連絡が取れたので今回のことが詐欺だと分かり警察に届け出たものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508 (これは) -878 (わなや)

を開設(24時間)しています。

警察官をかたる詐欺が多発しています。

警察官が「資金調査」などを理由にお金を振り込ませたり、お金を回収したりすることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。